

第 70 回中国四国合同産業衛生学会

産業衛生技術部会研修会概要

テーマ：産業医、産業保健看護職に知ってほしい！

リハビリテーション職種の関与で発展する産業衛生の可能性

日時：2026年7月25日（土）時間未定（120分）

（後日、企画運営委員会で設定）

会場：広島県医師会館（広島市東区二葉の里3丁目2-3）

目的：理学療法士や作業療法士といったいわゆるリハビリテーション専門職（以下、リハ職）は、これまで主に医療の現場を主な活躍の場としてきた。しかし2023年の第14次防災計画において「理学療法士等の活用」が明記されたことから、近年ではこれらの職種が治療にとどまらず、産業衛生の分野においても疾病予防、健康増進といった視点からの貢献が期待されている。そこで産業医や産業保健師・看護師といった従来の産業衛生職にリハ職が加わることで、これまで以上に効果的・効率的に産業衛生を推進していける可能性について認知を高めたいとともに、リハ職には産業衛生分野という新たな領域があるということを知周することを本研修会の目的とする。そこで、すでに産業衛生分野で活躍されている理学療法士3名を講師として、産業衛生分野におけるリハ職関与の有効性と、関与による産業衛生業界発展の可能性についてご講演いただく。島谷先生には転倒予防対策において、立位安定性を可視化し転倒リスクを低減するための転倒予防ソリューションの紹介と活用におけるリハ職の関与について、また谷先生には労働安全および労働衛生に重要な作業管理において、身体機能・運動機能評価、精神機能評価といった領域に専門性を持つリハ職との親和性について、さらに大原記念労働科学研究所の生みの親である大原孫三郎氏が設立された病院である倉敷中央病院付属予防医療プラザに勤務されている山本先生には、高齢労働者に対するポピュレーションアプローチとしてのフレイル対策におけるリハ職関与の有効性についてご講演いただく。

座長：徳森 公彦（広島国際大学、日本産衛学会衛生技術部会幹事）

1. 【講義1:40分】転倒予防対策におけるリハ職活用の有効性について～リスク評価を中心に

講師：島谷 康司（県立広島大学 保健福祉学部 理学療法学コース 教授）

2. 【講義2:40分】産業衛生における作業管理の役割とリハビリテーション専門職との親和性

講師：谷 直道（産業医科大学 産業生態科学研究所 人間工学研究室 講師）

3. 【講義 3:40 分実技含む】人間ドックに所属するリハ職が産業衛生に貢献できる可能性について
～予防医学の視点から～

講師：山本 遼（倉敷中央病院附属予防医療プラザ 理学療法士）

4. 【質疑応答：各講義時間に含む】

講師紹介

【講師 1】

氏名：島谷 康司（しまたに こうじ）

所属：県立広島大学保健福祉学部理学療法学コース 教授

広島大学工学部・教育学部 客員教授

医療法人紅萌会 社外理事

UNTRACKED 株式会社 社外取締役 CSO

広島県産業保健総合支援センター 産業保健相談員

所属学会：日本産業衛生学会所属の有無 無

資格：理学療法士、作業管理士、保育士、ワークショップデザイナー

【講師 2】

氏名：谷 直道（たに なおみち）

所属：産業医科大学 産業生態科学研究所 人間工学研究室 講師

所属学会（部会）：日本産業衛生学会（九州地方会 産業衛生技術部会、産業歯科保健部会）

資格：理学療法士、作業管理士、衛生工学衛生管理者、認定人間工学専門家

【講師 3】

氏名：山本 遼（やまもと りょう）

所属：公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院附属予防医療プラザ

健康・運動支援室 兼 医療イノベーション推進室

所属学会：日本産業衛生学会所属の有無 無（4月に入会予定）

日本理学療法士協会（日本理学療法学会連合）

資格：理学療法士、第一種衛生管理者、健康経営アドバイザー